

愛知県経済の現状と見通し<2025年12月>

1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
			詳細	
総括判断	景気の現状	☀ ☁	➡	緩やかに持ち直している 住宅投資に弱さがみられるものの、県内景気は緩やかに持ち直している。
家計部門	個人消費	☀ ☁	➡	緩やかに増加している 百貨店販売額は3か月連続の前年比増加
	雇用	☁	➡	回復傾向が一服している 有効求人倍率は6か月連続の前月比低下
	住宅投資	☁ ☂	➡	減少傾向にある 住宅着工戸数は7か月連続の前年比減少
企業部門	企業活動	☁	➡	足踏み 鉱工業生産指数は2か月連続の前年比上昇 当月公表な
	企業倒産	☁	➡	悪化しつつある 企業倒産件数は3か月連続の前年比減少
海外部門	輸出	☁	➡	減速の兆しがみられる 名古屋港通関輸出金額は3か月連続の前年比増加
公共部門	公共投資	☁	➡	持ち直している 公共工事請負金額は2か月連続の前年比減少
当面の見通し	緩やかに持ち直す見通し			
	景気は緩やかな持ち直しが続くとみられる一方、物価高や海外経済の減速による景気下押し圧力が強まる可能性も。			

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

☀: 晴、☀|☁: 晴～曇、☁: 曇、☁|☂: 曇～雨、☂: 雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

↗: 上方修正、➡: 据え置き、↘: 下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)

したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 中野
	電話: 059-354-7102 Mail: 33ir@33bank.co.jp

2. 個別部門の動向: 家計部門

個人消費	水準評価		→	詳細	緩やかに増加している
	基調判断	前月比較			
<p>○個人消費は、緩やかに増加している。</p> <p>○個人消費の動向を支出側からみると、10月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比+12.6%と4か月連続の増加(図表1)。食料(前年比+22.1%)や住居(同+129.1%)などが増加したことが背景。</p> <p>○個人消費の動向を販売側からみると、10月の百貨店販売額は、前年比+7.5%と3か月連続の増加。訪日外国人売上が前年を上回ったことや気温の急な低下により秋冬物衣料に動きが見られたことが背景。スーパー販売額は同+5.3%と12か月連続の増加(図表2)。商品別にみると、衣料品は10か月連続で減少した一方、飲食料品は12か月連続で増加し、全体を押し上げ。</p> <p>○11月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比▲4.0%と5か月連続の減少(図表3)。内訳をみると、小型車(同+15.5%)が5か月ぶりに増加したものの、普通車(同▲12.1%)が2か月連続、軽自動車(同▲3.7%)が4か月ぶりで減少。</p> <p>○春闊の高い賃上げ率等により家計を取り巻く所得環境が良好な状態が維持されることや、物価上昇率が鈍化すること等を背景に、個人消費は増加基調を継続すると期待される。</p>					

◆10月 勤労者世帯・消費支出(名古屋市)

- 前年比+12.6%(4か月連続の増加)
- ・食料: 前年比+22.1%(2か月連続の増加)
 - ・住居: 前年比+129.1%(9か月ぶりの増加)

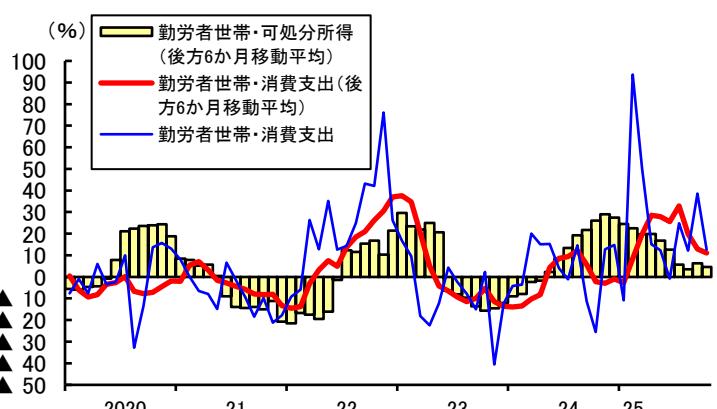
◆10月 大型小売店販売額

- ・百貨店: 前年比+7.5%(3か月連続の増加)
- ・スーパー: 前年比+5.3%(12か月連続の増加)

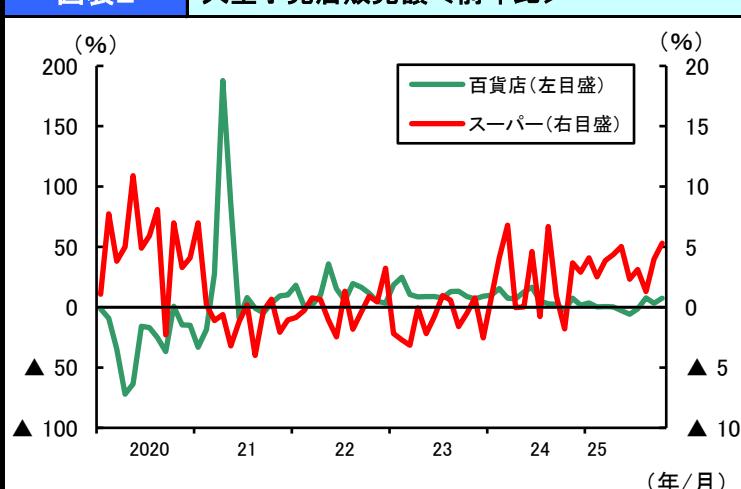
◆11月 新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)

- 24,708台 前年比▲4.0%(5か月連続の減少)
- ・普通車 12,301台 前年比▲12.1%(2か月連続の減少)

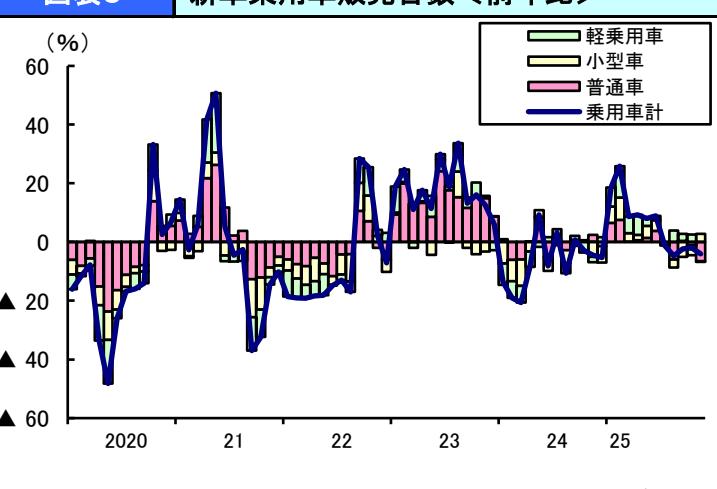
図表1 名古屋市・消費支出等<前年比>



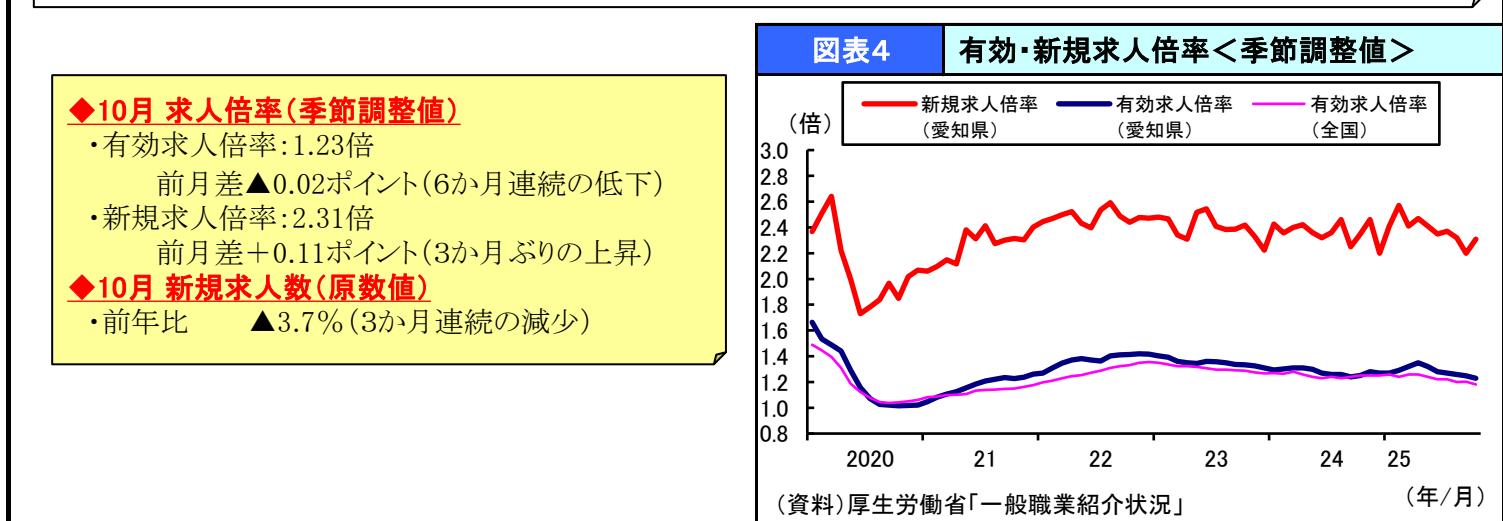
図表2 大型小売店販売額<前年比>



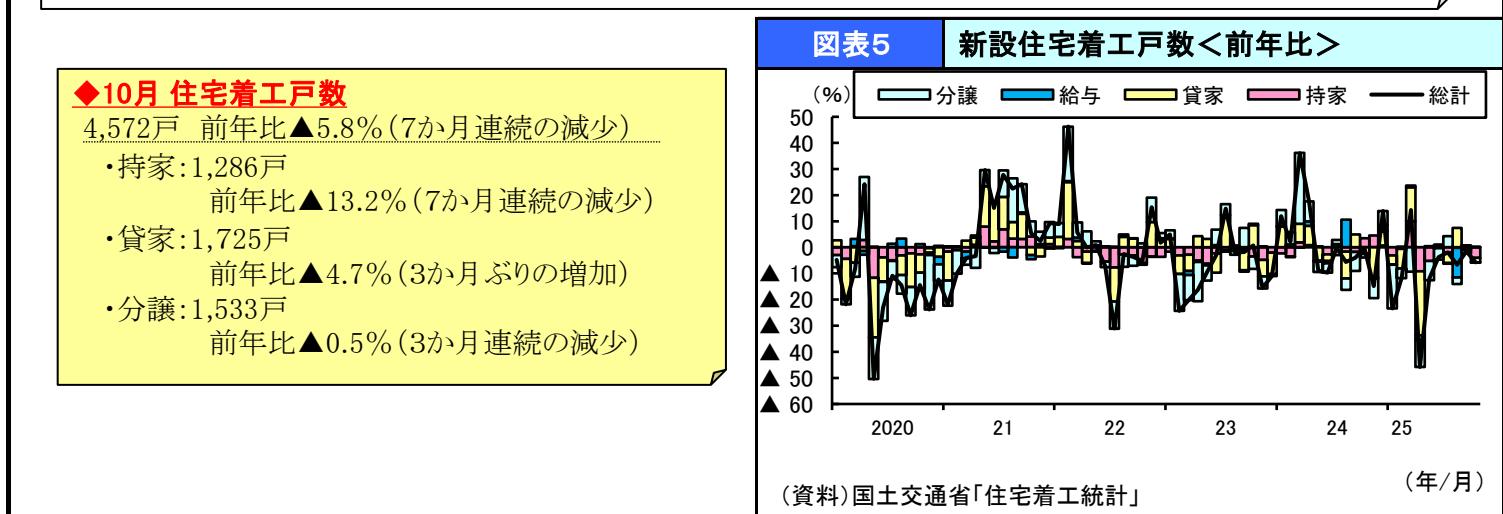
図表3 新車乗用車販売台数<前年比>



雇用	水準評価		→	詳細	回復傾向が一服している			
	基調判断	前月比較						
《現状》								
<p>○雇用は、回復傾向が一服している。</p> <p>○10月の雇用環境をみると、有効求人倍率は1.23倍(前月差▲0.02ポイント)と6か月連続の低下。一方、新規求人倍率は2.31倍(同+0.11ポイント)と3か月ぶりの上昇(図表4)。新規求人人数は前年比▲3.7%と3か月連続の減少。業種別にみると、医療、福祉(同▲6.7%)や卸売業、小売業(同▲8.0%)などが減少。</p>								



住宅投資	水準評価		→	詳細	減少傾向にある			
	基調判断	前月比較						
《現状》								
<p>○住宅投資は、減少傾向にある。</p> <p>○10月の住宅着工戸数は、前年比▲5.8%と7か月連続の減少(図表5)。利用関係別にみると、給与住宅(同+33.3%)が増加した一方、持家(同▲13.2%)、貸家(同▲4.7%)、分譲住宅(同▲0.5%)が減少。</p>								



3. 個別部門の動向:企業部門

企業活動	水準評価		→	詳細	足踏み			
	基調判断	前月比較						
<p>『現状』</p> <p>○企業の生産活動は、足踏み。</p> <p>○9月の鉱工業生産指数は、前年比+0.4%と2か月連続の上昇(図表6)。鉄鋼業(同+0.6%)が2か月連続、電気機械工業(同+9.1%)が9か月連続で上昇。</p> <p>『見通し』</p> <p>○先行き生産は、日米関税交渉が合意に至り、自動車にかかる関税は当初の25%から15%に引き下げられ、予想していたシナリオより影響が緩和されることや不透明感が払拭されたことから、持ち直しの傾向となる見通し。</p>								
当月公表なし								
<p>◆9月 鉱工業生産</p> <p>前年比+0.4%(2か月連続の上昇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送機械: 前年比+1.7%(3か月ぶりの上昇) ・鉄鋼: 前年比+0.6%(2か月連続の上昇) ・化学・石油・石炭: 前年比▲14.1%(5か月ぶりの低下) ・電気機械: 前年比+9.1%(9か月連続の上昇) 								
<p>図表6 鉱工業生産指数<前年比></p> <p>(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」</p>								

企業倒産	水準評価		→	詳細	悪化しつつある			
	基調判断	前月比較						
<p>『現状』</p> <p>○企業倒産は、悪化しつつある。</p> <p>○11月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、倒産件数は42件(前年比▲9件)と3か月連続の減少。負債総額は40億円(同▲58億円)と5か月連続の減少(図表7)。</p> <p>『見通し』</p> <p>○中小企業の経営環境は、金利上昇や物価高を受け、厳しさを増しており、企業倒産は増勢基調をたどる懸念も。</p>								
<p>◆11月 企業倒産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒産件数:42件 前年比▲9件(3か月連続の減少) ・負債総額: 40億円 前年比▲58億円(5か月連続の減少) 								
<p>図表7 倒産件数・負債総額<前年比></p> <p>(資料)株東京商エリサーチ「全国企業倒産状況」</p> <p>(注)負債総額1,000万円以上</p>								

4. 個別部門の動向: 海外部門

輸出	水準評価		→	詳細	減速の兆しがみられる			
	基調判断	前月比較						
<p>◆現状</p> <p>○輸出は、減速の兆しがみられる。</p> <p>○11月の名古屋港通関輸出額は、前年比+1.2%と3か月連続の増加(図表8)。仕向地別にみると、西欧向け(同+39.0%)が3か月連続で増加したことに加え、アジア向け(同+1.1%)も3か月連続で増加。</p>								
<p>◆見通し</p> <p>○米関税政策の影響が徐々に顕在化するなど、先行きは弱含みで推移する見通し。</p>								
<p>◆11月 名古屋港通関輸出額</p> <p>13,690億円 前年比+1.2%(3か月連続の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア: 前年比+1.1%(3か月連続の増加) ・米国: 前年比+5.2%(7か月ぶりの減少) ・西欧: 前年比+39.0%(3か月連続の増加) 								
<p>図表8 名古屋港通関輸出額<前年比></p> <p>(資料)名古屋税関「管内貿易概況」 (年/月)</p>								

5. 個別部門の動向: 公共部門

公共投資	水準評価		→	詳細	持ち直している			
	基調判断	前月比較						
<p>◆現状</p> <p>○公共投資は、持ち直している。</p> <p>○11月の公共工事請負状況をみると、請負件数は前年比▲9.9%と2か月連続の減少。請負金額は同▲0.8%と2か月連続の減少(図表9)。請負金額を発注者別にみると、県(同+1.6%)が増加した一方、国(同▲185.2%)、市町村(同▲11.0%)、独立行政法人(同▲49.9%)で減少。</p>								
<p>◆見通し</p> <p>○リニア中央新幹線開業を見据えた名古屋駅スルーパーティー化、中部国際空港の将来構想など大型案件が見込まれ、公共投資は持ち直しに向かう見込み。</p>								
<p>◆11月 公共投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共工事請負件数: 539件 前年比▲9.9%(2か月連続の減少) ・公共工事請負金額: 205億円 前年比▲0.8%(2か月連続の減少) 								
<p>図表9 公共工事請負金額<前年比></p> <p>(資料)東日本建設業保証株「愛知県内の前払金保証取扱高」(年/月)</p>								

県内経済トピックス (2025年11月)



1. 愛知県が県立高専新設へ DX、生成AI進展見据え人材育成

- 11月4日、時代に即した高度な人材を育成するため、愛知県は県立の高等専門学校（高専）の新設を目指す方針を固めた。愛知総合工科高校（名古屋市千種区）の敷地内に併設し、文部科学省の認可が得られれば、最短で2029年4月の開校を想定している。
- 愛知県内には国立の豊田工業高専（豊田市）があるが、公立の高専はない。新たな高専の開校はデジタルトランスフォーメーション（DX）や生成人工知能（AI）の進展による産業構造の変化を見据え、地域経済で即戦力となる人材の輩出を狙いとしている。
- 計画では、定員は1学年1学級で40人、5学年で200人を想定。学科名などは今後検討するが1学科に複数のコースを設置する。利便性が高く、専門的な技術者教育の実績がある愛知総合工科高の既存施設を活用することで、校舎の建設を最小限にする。

2. 大府市の小児保健医療総合センター、リニューアル検討へ

- 11月7日、愛知県は小児を診療する県内唯一の専門総合病院「あいち小児保健医療総合センター」（大府市）のリニューアルに向けた検討を始める。大学病院の医師へのヒアリングを本年度内に行い、老朽化対策や少子化への対応など課題解決に役立てる。
- 病院が開設されたのは2001年。大村秀章知事はリニューアルの方針について「24年が経過し、施設の老朽化対策が重要な課題。いろいろな意見を聞いてベストな小児医療のあり方を検討する。」と話した。
- 県は、県内4大学病院で小児医療に携わる医師から意見を聞き取っている。病院事業庁の担当者は「少子化の中、子どもの病院として医療機能をどう維持すればいいのか、方向性を決めていかなければ」と話した。

3. 訪日客の愛知県内消費額、過去最高を更新 円安追い風で推計3,060億円

- 昨年1年間に愛知県を訪れた外国人旅行者の消費額が、推計で過去最高の3,060億円だったことが県のまとめで分かった。外国人旅行者数は新型コロナウイルス禍前の水準に届いていないが、近年の円安傾向などが追い風となり、一人当たりの金額が伸びた。
- 県は、中部国際空港（常滑市）から帰国する外国人旅行者への聞き取りなどを基に、2010年から消費額を毎年推計している。県観光振興課によると、外国人宿泊客の消費額は前年の2倍以上に増え、日帰り旅行者も含めた全体の消費額がこれまで最高だった新型コロナ禍前の2019年の2,397億円を上回った。
- 国・地域別に見ると、中国人が最多の約29%。次いで台湾が約19%、韓国が約12%、香港が約8%とアジア圏が多くを占めた。同課の担当者は「中部国際空港への直行便が充実しているから」と理由を説明。「滞在日数が長くなり、訪日客の消費が増えた」と分析した上で「オーバーツーリズム（観光公害）を防ぎながら観光産業を伸ばしていきたい」と期待した。

（出典）中日新聞

景 気 指 標

<愛知県>

三十三総研
2025/12/26

(注)()内は前年同期(月)比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2023 年	2024 年	2024年 10~12月	2025年			2025年				
				1~3月	4~6月	7~9月	7月	8月	9月	10月	11月
大型小売店販売額	(2.2)	(3.7)	(1.8)	(2.8)	(1.8)	(2.8)	(1.7)	(2.9)	(3.7)	(6.0)	
百貨店	(11.1)	(6.8)	(2.1)	(1.4)	(▲ 3.0)	(2.8)	(▲ 1.4)	(7.7)	(3.2)	(7.5)	
スーパー	(▲ 1.1)	(2.3)	(1.7)	(3.5)	(3.9)	(2.7)	(3.1)	(1.3)	(4.0)	(5.3)	
新車登録・販売台数(台)	226,984	210,640	53,452	62,937	49,452	51,901	18,703	13,273	19,925	17,628	17,674
	(20.1)	(▲ 7.2)	(▲ 3.9)	(12.9)	(7.3)	(▲ 6.2)	(▲ 1.3)	(▲ 12.1)	(▲ 6.5)	(▲ 6.2)	(▲ 5.2)
有効求人倍率(季調済)	1.35	1.28	1.26	1.29	1.31	1.26	1.27	1.26	1.25	1.23	
新規求人倍率(季調済)	2.40	2.36	2.35	2.47	2.41	2.30	2.37	2.32	2.20	2.31	
名目賃金指数(調査産業計)	(1.6)	(1.8)	(2.7)	(1.9)	(1.4)	(2.7)	(1.9)	(2.8)	(4.0)		
実質賃金指数(同)	(▲ 2.0)	(▲ 1.3)	(▲ 1.3)	(▲ 2.6)	(▲ 2.5)	(▲ 0.9)	(▲ 1.9)	(▲ 0.5)	(0.5)		
所定外労働時間(同)	(▲ 0.4)	(▲ 5.8)	(▲ 5.9)	(▲ 0.9)	(0.9)	(▲ 0.9)	(0.0)	(▲ 3.9)	(0.9)		
常用雇用指数(同)	(▲ 0.4)	(1.0)	(0.9)	(1.4)	(0.8)	(0.6)	(0.5)	(0.7)	(0.7)		
新設住宅着工戸数(戸)	54,685	56,119	13,689	14,017	10,385	13,787	4,835	4,543	4,409	4,572	
	(▲ 7.7)	(2.6)	(▲ 1.0)	(▲ 5.2)	(▲ 22.3)	(▲ 3.4)	(▲ 1.9)	(▲ 6.7)	(▲ 1.5)	(▲ 5.8)	
鉱工業生産指数	(8.6)	(▲ 8.8)	(▲ 3.2)	(4.5)	(2.1)	(▲ 0.2)	(▲ 2.5)	(2.1)	(0.4)		
	-	-	< 2.1>	< 3.3>	<▲ 3.1>	<▲ 2.1>	<▲ 0.1>	<▲ 0.6>	<▲ 1.8>		
企業倒産件数(件)	532	611	155	160	162	177	63	56	58	45	42
(前年同期(月)差)	(162)	(79)	(11)	(21)	(16)	(6)	(▲ 6)	(13)	(▲ 1)	(▲ 11)	(▲ 9)
民間非居住建築物着工床面積(千m ²)	3,527	2,735	726	689	756	769	199	291	279	213	
	(▲ 4.4)	(▲ 22.4)	(▲ 39.9)	(25.9)	(▲ 4.5)	(14.9)	(11.5)	(52.8)	(▲ 7.0)	(0.6)	
名古屋港 輸出(億円)	151,877	161,707	43,356	40,905	39,818	40,141	14,245	11,966	13,930	14,892	13,691
	(8.4)	(6.5)	(3.2)	(8.8)	(0.1)	(▲ 2.1)	(▲ 5.8)	(▲ 6.2)	(6.2)	(2.6)	(1.2)
公共工事請負金額(億円)	5,502	6,346	921	1,584	3,560	1,885	790	543	552	348	205
	(3.7)	(15.3)	(11.6)	(26.6)	(30.0)	(31.4)	(32.8)	(38.4)	(23.3)	(▲ 21.1)	(▲ 0.8)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	(3.0)	(2.7)	(3.1)	(3.5)	(3.6)	(3.0)	(3.2)	(2.8)	(2.9)	(3.1)	(3.0)

<東海3県(愛知・三重・岐阜)>

	2023 年	2024 年	2024年 10~12月	2025年			2025年				
				1~3月	4~6月	7~9月	7月	8月	9月	10月	11月
大型小売店販売額(全店)	(1.6)	(2.7)	(0.7)	(1.9)	(1.6)	(2.3)	(1.0)	(2.6)	(3.4)	(5.3)	
同 (既存店)	(0.9)	(3.2)	(1.8)	(2.8)	(1.7)	(1.9)	(1.4)	(1.9)	(2.5)	(4.5)	
新設住宅着工戸数(戸)	73,459	72,757	17,880	18,545	13,669	17,478	6,167	5,790	5,521	6,094	
	(▲ 8.3)	(▲ 1.0)	(▲ 1.8)	(▲ 1.5)	(▲ 21.8)	(▲ 5.9)	(3.1)	(2.9)	(2.8)	(3.0)	
有効求人倍率(季調済)	1.39	1.31	1.29	1.31	1.31	1.28	1.29	1.27	1.27	1.25	
新規求人倍率(季調済)	2.39	2.35	2.34	2.41	2.35	2.30	2.35	2.33	2.24	2.29	
鉱工業生産指数	(3.5)	(▲ 2.8)	(▲ 1.1)	(7.0)	(1.1)	(▲ 0.4)	(▲ 1.0)	(▲ 1.9)	(4.0)	(3.1)	
	-	-	< 2.0>	< 3.7>	<▲ 4.1>	<▲ 2.0>	<▲ 1.2>	< 0.1>	< 0.8>	< 5.6>	
企業倒産件数(件)	799	868	223	220	209	263	102	77	84	66	61
(前年同期(月)差)	(265)	(69)	(7)	(24)	(0)	(23)	(8)	(4)	(11)	(▲ 8)	(▲ 14)
域内外国貿易 純輸出(億円)	88,899	99,401	28,206	23,384	24,488	24,248	9,174	6,649	8,425	10,171	9,364
輸出(億円)	212,571	225,311	60,353	56,625	55,354	55,837	19,747	16,496	19,594	20,819	19,420
輸入(億円)	123,672	125,911	32,147	33,242	30,865	31,589	10,573	9,847	11,170	10,647	10,056
	(11.5)	(6.0)	(0.7)	(6.9)	(▲ 0.6)	(▲ 0.8)	(▲ 5.3)	(▲ 5.9)	(9.3)	(4.9)	(1.3)